

## 晩秋の印旛沼サイクリング

○日 時：11月9日（水）

○コース：佐倉ふるさと広場～印旛沼サイクリングコース～利根川土手 往復：約42km

○スタート：午前11時00分 ○ゴール：15:30

<コースルート>

佐倉ふるさと広場（11時スタート）<==印旛沼サイクリングコース/5.6km==>双子公園（トイレあり）

<==印旛沼サイクリングコース/11.4km==>県道18号合流<==県道18号・（ランチタイム12:30頃）/4.1km==>利根川土手（折り返し地点）

マドンナ2名を含む総勢10名の参加。集合場所には車で来る人、電車で輪行して来る人、そして自宅からサイクリングして来る人とそれぞれ。お天気はみんなの平日頃の行いが良いため、“晴れ～！”



サイクリング部顧問の石裏さんが奥さんと一緒にみんなの出発を見送ろうと全員への手土産を持参して来ていただいた。石裏さ～ん、ありがとうございます。

どうも歳をとると早く集合場所に到着する習性があるらしい。ほとんどのメンバーが早めに着いていた。森部会長から若干の注意事項の説明の後、予定よりも早めのスタートと相成った。サイクリングコースは大体道幅2～3mのアスファルト舗装。路面は傷みが少なく走り易い、快適なサイクリング・・・と思いきやいきなり強烈な向かい風。印旛沼沿いのコースのため、風を遮るものはなし。どうも 木枯らし1号が吹いているらしい。

まともに前から攻めてくる時は、みんな匍匐前進の如く、地面にへばり付くかのように姿勢を低く低く、顔だけを前方に向けてまるで鬼のような形相で必死に漕ぐ。そんな連中が次から次へと走り過ぎるものだから、傍から見ている人達はこの集団な“なんじゃらほい？”と不思議な顔をして見ている。

沼に沿っているため風向きは前から横から、時には後ろから我々を追いかけてくる。そんな“楽ちん”な時は、突然にやって来るが、ほんの少しの間だけと大体相場は決まっている。横から突風がくると、自転車ごと吹き飛ばされるかと思わず握るハンドルに力が入る。



途中、オリンピック金メダリストの高橋尚子がトレーニングランしたという立札や、また3万年前のナウマンゾウの化石が出たというレリーフもあった。

遠くには筑波山がスカッ！と透き通った空に浮かんでいる。その左手にはどうも日光の男体山？らし



き山も。気持ちいい～。

そんなこんなで約1時間半程走って、やっとランチタイムポイントに“と～ちゃこ～！”



ここではまたまた差し入れが・・・  
的場さんが車で応援に。  
疲れをとってくださいと、  
レモンジュースを全員にプレゼント。  
感謝！感謝！。



“うな重を食べたい”

いやいや“ソバがいい”とみんなうるさい。

近くにそば屋が見える。ここで 両方の欲求を満たすことは出来ないかと、お店のおねえさんに聞くとなんと“ウナギもそばもあるよ”と嬉しい言葉に誘われて全員入店。なぜかみんなミニそば付、うな重定食（1500円税別）を注文。これが結構美味かった。店の雰囲気もよし。



お腹を満たし、折り返し地点の利根川の土手まで、ちょこっと走り、しばし休憩。だが、なんせ吹き曝しのため風は強烈で寒い寒い。なので、草々にUターンして同じルートを出発地点まで走った。帰りは風向きがほぼ追い風となり楽ちん楽ちん。15時半頃に予定通り楽しいサイクリングを終えた。お疲れ様でした。

記：プランリーダー：四方 順次